

新型コロナウイルス ワクチン接種のお知らせ



接種がお済みでない方は、お早めのワクチン接種をおすすめします

強い感染力をもつ「オミクロン株」等による第7波の感染拡大では、いつどこで感染するか分からず、感染すれば自分の周りにいる大切な家族や友人などにつつしてしまうかもしれないといった不安にさらされています。

その不安を軽減し、一人ひとりの命と健康を守るために、**初回（1・2回目）接種、3回目接種、4回目接種がお済みでない方は、ご自身が対象になるかを確認し、早めの接種をご検討ください。**

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された方のうち、重症化しやすいのはどんな方ですか。

A 高齢者と基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方です。
重症化のリスクとなる基礎疾患等には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満等があります。
ワクチン接種を受けることで、重症化予防効果が期待できます。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合です。
※厚生労働省資料から作成

オミクロン株対応ワクチン接種について

国の分科会において、オミクロン株に対応したワクチン接種を予防接種法に基づく予防接種に位置づける方向で検討していくこととされました。接種対象者や開始時期・接種間隔等については、今後得られるデータや諸外国の動向等を踏まえ、引き続き審議することとなっています。

市では、引き続き情報収集し、実施が決定された場合には迅速に対応できるよう、準備を進めています。詳細が決まり次第、広報紙・市ホームページなどでお知らせします。

対象者	初回（1・2回目）接種を完了した12歳以上の市民を対象に実施することが想定されています。
接種の開始時期等	令和4年10月半ば以降に実施予定（ワクチンの供給状況により前倒しになる可能性があります） ※接種間隔や開始時期・接種券の発送時期は、現時点では未定です。
使用ワクチン	オミクロン株（BA.1）と従来株に対応した2価ワクチンを使用することが妥当とされました。

※掲載情報は、9月2日時点のものです。今後の国の検討状況等により、変更する可能性があります。

小児接種も行っています（5～11歳のお子様へのワクチン接種）

オミクロン株流行下での新たな知見を踏まえ、9月から5～11歳の小児を対象としたワクチン接種に対して予防接種法上の努力義務が適用される予定です。

※「接種を受けるよう努めなければならない」もので、接種を強制するものではありません。保護者の方は、ワクチン接種による発症予防効果等と副反応のリスクを考慮し、お子様本人も含めてご家族でよく話し合ったうえで判断してください。

問 新型コロナワクチン対策室 ☎ 0297(21)7111